

第21回青梅市中心市街地活性化協議会 会議録

日 時 2021年11月17日(水) 10:00~11:30

会 場 青梅織物工業協同組合 2階

1. 開会挨拶 小澤会長

2. 確認事項

- (1) 資料の確認
- (2) 定足数の確認
- (3) 前回会議録について
- (4) 役員改選、2020年度事業報告および収支決算書、2021年度事業計画書(案)および収支予算書(案)、青梅市中心市街地活性化基本計画の延長の手続きの承認の確認

3. 協議事項

- (1) 青梅市中心市街地活性化基本計画の延長の手続きについて

4. 報告事項

- (1) 各事業の進捗状況
- (2) タウンマネージャー報告

5. その他

- ・次回開催日 2022年4月予定

6. 閉会挨拶 池田副会長

(配布資料)

- ・名簿
- ・「青梅市中心市街地活性化基本計画」の計画延長についての資料
- ・「青梅市中心市街地活性化基本計画」新旧対照表
- ・「青梅市中心市街地活性化基本計画(変更案)」に対する意見書(案)
- ・令和2年度フォローアップ報告
- ・青梅宿アートフェスティバルチラシ
- ・シネマネコ映画館チラシ

<p>司会</p>	<p>皆様、おはようございます。お忙しいところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。定刻の10時00分になりましたので、第21回中心市街地活性化協議会を開催させていただきます。本日、司会進行をさせていただきます、青梅商工会議所の中村でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>開会の前に委員の変更がございます。お名前を申し上げますので、その場でご起立をお願いいたします。お手元に資料の「名簿」がございます。その内容を見ていただければと思います。まず、変更点でございます。</p> <p>青梅市 企画部長 橋本部長 → 伊藤部長  青梅市 経済スポーツ部長 伊藤部長 → 星野部長  西東京バス 安藤青梅営業所長 → 波多野青梅営業所長（欠席）  京王自動車 安西青梅地区営業所長 → 藤井青梅地区営業所長  （一社）青梅青年会議所 永田理事長 → 大久保理事長  青梅市医師会 江本会長 → 土田会長（欠席）  青梅市 事務局 小井戸課長、橋本 → 山中課長（欠席）、田中</p> <p>以上ようになっております。</p> <p>それでは開会に先立ちまして、小澤会長よりご挨拶をいただきたいと存じます。小澤会長、よろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>皆様、おはようございます。このように顔を合わせるのは久しぶりの感じがし、同窓会のような雰囲気がありますが、本日はよろしくお願いいたします。コロナに関しましては、先日、NHKで新潟大学の研究が発表されており、日本においてコロナは自滅した、自滅しつつあるという発表がありました。ただ、それは日本においてのことであり、世界では恐慌が続いている国もある状況はご存じのとおりです。新潟大学の発表が正しければ、我々はそろそろ普通の生活に戻れるのではないかと思います。さて、中心市街地活性化協議会ですが、これが始まったころと現在とでは、かなり状況が変わっています。地方、田舎、都市以外の価値というか、存在の意義が変化していることを感じています。これはチャンスと捉えればチャンスですので、皆様から再度、青梅の個性のご意見を伺って、より良い方向に導けていけたらと思っています。今回は久しぶりの協議会ですので、皆様のご意見もいろいろとあるかとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>司会</p>	<p>小澤会長、ありがとうございました。</p> <p>それでは議事進行につきましては、小澤会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
<p>議長</p>	<p>それではご指名ですので、議長を務めさせていただきます。まず、確認事項から入らせていただきます。事務局より説明をお願いします。</p>

事務局	<p>それでは確認事項です。まず配布資料のご確認でございます。</p> <p>— 資料の確認 —</p> <p>以上で資料となりますが、資料漏れ等はございませんでしょうか。問題なければ以上が本日の配布資料とさせていただきます。</p>
議長	<p>ありがとうございました。皆様、資料の方は問題ございませんでしょうか。それでは次に定足数の確認について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは定足数の確認をさせていただきます。本日の出席状況ですが、定数35名に対し出席者18名、委任状出席17名、合計35名となっています。協議会規約第12条第2項によりまして、委員の過半数の出席をもって本協議会は成立となります。よろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>ありがとうございました。それでは成立いたしましたので進めさせていただきます。続いて前回会議録について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>前回は4月に開催予定でしたが、昨年に続きまして緊急事態宣言中とのことでしたので、書面決裁という形を取らせていただきました。また、前々回の会議録につきましては、すでに皆様にご案内させていただいています。本日はお手元の資料に入れておりませんが、何か修正等がありましたら事務局までご一報をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>ありがとうございました。続いて役員改選、2020年度事業報告および収支決算書、2021年度事業計画書（案）および収支予算書（案）、青梅市中心市街地活性化基本計画の延長の手続きの承認の確認について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>先程、申し上げましたが、前回4月につきましては書面決裁という形を取らせていただきました。結論から申し上げますと皆様に賛同いただきまして、書面上で承認を取らせていただきました。ご確認も含めて本日ご報告をさせていただきます。まず、本年度は役員改選期でもあり、会長は継続して小澤会長、副会長は野寄社長、同じく副会長が池田副市長、監事が久保商連会長ということで再任のご承認をいただいておりますので、ご報告をさせていただきます。また、事業報告、決算、事業計画、収支予算につきましても承認をいただいております。最後の基本計画の延長では前々回の時に延長の方向で動くということをご報告させていただいております。現在、1年間の延長ということで青梅市に動いていただいております。そちらの内容につきましては、後程、ご説明させていただきますが、承認をいただいておりますので、確認としてご報告させていただきます。</p>
議長	<p>ありがとうございました。確認事項は終了させていただきまして、次に協議事項に入らせていただきます。青梅市中心市街地活性化基本計画の延長の手続きについてです。基本計</p>

	<p>画にかかる部分ですので、青梅市より説明をお願いします。</p>
<p>青梅市</p>	<p>青梅市中心市街地活性化基本計画の延長につきまして、青梅市よりご説明させていただきます。以前から協議会でお話をしていますが、現在、令和3年度末までとされている計画につきまして、令和4年度末までの1年間の延長をする手続きにつきましては、日々、内閣府と調整を進めている段階です。内閣府から許可をいただくためには今までの計画に載せていない新たな事業を計画する等、計画の変更を行う必要があります。計画の変更に際しましては、この協議会に諮ることとなっております、本日その変更内容案を皆様にご説明させていただきます。それではお手元の資料「青梅市（計画期間の延長）」をご覧ください。計画変更に伴い、内閣府に確認しながら進めている資料です。</p> <p>左上より、人口（面積）、認定期間（延長後）、変更理由を記載してあり、右側の変更理由をご確認ください。青梅市が目標に掲げている「回遊性の向上」（目標指標：観光案内所来所者数）について、令和2年度に目標指標（観光案内所来所者数）を大きく下回る結果となっております。主な理由としては、新型コロナウイルス感染症の影響による観光客の減少やイベントの中止に加え、「青梅赤塚不二夫会館」が施設の老朽化・後継者不足等の理由により令和2年3月に閉館となる等、従来から続く事業の終了・停滞も挙げられます。その他、市全体の人口減少・少子高齢化への推移により、「街なか居住の促進」（目標指標：居住人口）についても現行の期間内に達成することが厳しい状況となっております。このような中、計画期間を1年延長したうえで、新たにオープンした映画館シネマネコの活用や民間事業者・大学等と連携する等、回遊性の向上・街なか居住の促進が見込まれる新規事業を追加することとし、当該事業の効果により目標の達成を目指すという内容にしています。</p> <p>来年度より追加する事業といたしましては、計画延長に関連する事業に記載しています。</p> <p>①東栄会商店街シールラリー事業 協同組合東栄会が「シネマネコ」と連携した事業になります。</p> <p>②「青梅時間」プロジェクト事業 まちづくり青梅がカフェ、シェアオフィス、日本式木造住宅の民泊スペースの機能を有する建物を借り上げ、新しいまちなか滞在の提案を行います。</p> <p>③地域活性化情報発信事業 民間事業者が行う地域密着型の情報発信イベントを行うもので、すでに令和2年度より行われている事業になります。</p> <p>④大学生との連携による活性化事業 民間大学と青梅市が連携し、「中心市街地活性化」等をテーマとしたフィールドワークを実施する事業になります。</p> <p>⑤仮になりますが、「移住・定住コンシェルジュ事業」および⑥「おためしおうめ生活」事業になります。両方とも確定している事業ではございませんが、青梅市への移住を促進するために実施を検討している事業になります。</p> <p>また、その他にも2つの事業があり、「休日夜間診療所整備事業」と「映画館整備・運営事業（シネマネコ）」があります。こちらはいずれも令和3年度に実施している事業となります。</p> <p>続きまして、フォローアップの状況でございます。先程申し上げましたが、①「街なか居住の促進」の目標指数である「居住人口」と③「回遊性の向上」の目標指数である「観光案内所来所者数」が目標値を下回っている状況であります。そのため、計画期間を1年間延長いたしまして、先程説明した8つの事業および既存事業を確実に実施することによって、これらの目標の達成をしていきたいと考えています。</p> <p>続きまして、計画期間延長のスケジュールになります。今年の4月の第20回青梅市中心</p>

市街地活性化協議会では書面会議にはなりませんが、計画期間の延長を行う旨を青梅市から諮り、5月に承認されました。その後、内閣府との調整を行い、10月4日には内閣府幹部ヒアリングを行いました。また、11月10日には内閣府幹部の現地視察があり、青梅市の中心市街地を実際に見ていただきました。皆様にご協力をいただきまして、内閣府の幹部の方々も市街地の状況につきましては概ね満足していただきました。今後ですが、年明けの1月下旬には正式に内閣府への計画期間延長の申請を行い、3月に計画期間延長の認定を得られる予定となっています。

続きまして、資料「青梅市中心市街地活性化基本計画 新旧対照表」をご覧ください。左側が変更後、右側が変更前になります。また、変更箇所につきましては赤字で、変更のない箇所につきましては黒字で表記してあります。まず1ページの計画期間の変更をご覧ください。なっていたらお分かりになりますように、1年間の延長を行うことによる単純な期間表記の変更が多くなりますので、説明は省略させていただきます。本日はそれ以外の部分につきましては、簡単にご説明させていただきます。3ページをご覧ください。令和4年3月変更時の状況といたしまして、令和2年度では居住人口の目標が達成できていないことを記載しており、目標値は1年延長した際の最新値としています。続きまして、新規出店数につきましては、今年度末で目標値の達成は見込んでいます。続きまして、6ページ中段をご覧ください。「目標指標③：観光案内所来所者数」の目標値および最新値につきましては、令和2年度実績で目標値を大きく下回っていること、また、この目標値を達成するために先程説明した新規事業を追加して記載しています。続きまして、9ページをご覧ください。休日夜間診療所整備事業となります。既に市役所や西多摩保健所が建てられている東青梅駅周辺に、発熱患者に対応する機能を備えた「青梅市休日夜間診療所」を新設・運営し、行政サービスのさらなる集積・充実を図ります。これは目標①「街なか居住の促進」の達成に必要な事業であります。続きまして、11ページをご覧ください。仮となりますが、移住・定住コンシェルジュ事業となります。市内の移住経験者を「移住・定住コンシェルジュ」として委嘱し、青梅市へ移住を検討している方に対し、相談対応や地域情報の提供などを行うことにより、心理的サポートや移住後の円滑な地域定着を図る事業となります。次も仮となりますが、「おためしおうめ生活」事業となります。「おためしおうめ生活」と銘打ち、市内への移住を検討する方に対し、既存の市内宿泊施設（民泊施設含む）の宿泊費用を補助します。これにより青梅市での生活を体験し、移住の判断材料としていただく事業となります。続きまして、14ページをご覧ください。映画館整備・運営事業といたしまして、シネマネコの運営事業となります。青梅織物工業協同組合の保有する国有形文化財を活用し、青梅市に約50年振りとなる映画館を整備・運営することにより、中心市街地のにぎわいを創出する事業となります。続きまして、16ページをご覧ください。東栄会商店街シールラリー事業となります。続きまして、17ページをご覧ください。青梅時間プロジェクト事業となります。続きまして、18ページをご覧ください。地域活性化情報発信事業、大学生との連携による活性化事業となります。これらの事業は先程、ご説明させていただきました内容となりますので、説明は省略させていただきます。続きまして、19ページとなります。青梅市中心市街地活性化協議会構成員になり、変更点について記載しています。なお、青梅信用金庫につきましては

	<p>理事長が構成員となりますので、修正なしのままでご対応させていただきます。続きまして、20ページ下段となります。開催状況につきましては、第18回以降の開催状況を追加して記載しています。最後になりますが、最終ページに変更後、変更前の事業実施箇所図を記載していますので、ご参考にしていただければと思います。実施場所が記載されていない事業もございますが、実施場所が区域の広範囲の及ぶ事業・実施場所が特定されない事業に記載していますので、ご了承のほど、よろしく願いいたします。主な計画の修正箇所につきましては以上となります。</p>
議長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明に対して、何か質問はありますか。よろしいでしょうか。それでは、今説明を踏まえまして、事前に事務局で意見書（案）を作成いたしましたので、事務局、説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、資料「青梅市中心市街地活性化基本計画（変更案）に対する意見書（案）」をご覧になっていただければと存じます。青梅市からの説明を受けまして、こちらで作成した意見書（案）を読み上げさせていただきます。</p> <p>— 「青梅市中心市街地活性化基本計画（変更案）」に対する意見書（案）読み上げ —</p> <p>以上のとおり、意見書を青梅市に提出したいと思っておりますので、ご審議のほど、よろしく願いいたします。</p>
議長	<p>ありがとうございました。ただいま、意見書（案）を事務局より読み上げていただきましたが、皆様からご承認いただければこの内容で提出させていただきますがよろしいでしょうか。</p>
全員	<p>異議なし。</p>
議長	<p>ありがとうございます。異議なしということでしたので、こちらを提出させていただきます。その他は何かありますか。無いようですので、これで協議事項を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
議長	<p>続きまして、報告事項です。各事業の進捗状況についてご報告、ご説明をいただきます。まず、都市機能の（株）まちづくり青梅の野寄社長、お願いします。</p>
副会長	<p>まちづくり青梅ではいくつかの事業を行っていますが、まずは駐車場事業になります。昨年はコロナの影響で大幅に駐車台数が減少しておりました。今年になってから徐々に戻りつつありますが、まだ残念ながらコロナ前までの状況には戻っていないのが実情です。前回もお話しさせていただきましたが、ゴミの問題があり、街の中にもかなりゴミが増えているのですが、駐車場にも相当なゴミが捨てられている、放置されている状況です。スタッフで片付けてはいるのですが、これは青梅市でもしっかりとご対応いただかないと解消できないのではないかと考えています。次におうめマルシェですが、商店街に人が流れる</p>

	<p>ように4月におうめマルシェのスタンプラリーを作成しました。スタンプが集まると無料駐車券を差し上げるサービスを実施しています。また、おうめマルシェの参加者が常時販売できる場所を確保できないかということで、本町のサイクルハーバーの隣が空き店舗になっており、その場所をお借りしてマルシェの自動販売機を設置して、9月に「jihan de マルシェ」を実施しました。さらに、おうめマルシェのブログも地元の大学生に依頼して11月12日より公開していますので、そちらもご覧になっていただければと思います。次に民泊の青梅時間になりますが、昨年からは休業状態になっていましたが、8月に新たな事業者のもと、リニューアルオープンをいたしました。現在までで79名の利用となっています。カフェは緊急事態宣言が出ていたこともあり、休業していました。次にアキテンプ不動産ですが、コロナ以降、青梅に移住したいという方の問合せが非常に多く増えています。対応は今までのスタッフでは足りないため、1名増員して対応しています。今年の5月から4件が新規開業しています。今月中には新規に1件が契約する予定となっています。まちなかの物件については、引き続き所有者との交渉できる物件をHPやSNSで発信していく予定です。来年2月にはアキテンプ見学会の開催も予定しています。現在、新規物件の開拓も進めている状況です。</p>
議長	<p>ありがとうございました。コロナの影響もある中ですが、積極的に行動されていて、ご報告いただきましてありがとうございます。次に青梅市の田中さん、ご報告をお願いします。</p>
青梅市	<p>青梅市からは今年5月にまとめた資料「中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告」にもとづき、主要事業の進捗状況等について概要をご報告します。</p> <p>このフォローアップに関する報告は、取組事業等の進捗状況や目標達成状況等について、自己評価し、その結果を内閣府へ報告するものです。合わせて市のホームページでも公開しています。先程ご説明した内容と重複する部分もありますので、簡潔にご報告させていただきます。それでは、令和2年度青梅市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告をさせていただきます。</p> <p>はじめに「Ⅰ. 中心市街地全体に係る評価」の「1. 令和2年度終了時点（令和3年3月31日時点）の中心市街地の概況」です。ここでは、「基本計画」を推進していく上での考え方や中心市街地の歴史的背景ならびに現状について説明しています。次に令和2年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見では、昨年度の協議会時にご意見のありました映画館「シネマネコ」、青梅駅前再開発、(株)まちづくり青梅の事業状況、基本計画の延長につきましての記述をしています。続きまして、次に「Ⅱ. 目標毎のフォローアップ結果」の「1. 目標達成の見通し」ですが、先程もご説明させていただきましたので、省略させていただきます。次に「2. 目標達成見通しの理由」です。「居住人口」については、令和3年度末での目標達成は難しい見通しとなっています。「新規出店数」については、アキテンプ不動産事業等により目標達成可能と見込んでいます。「観光案内所来所者数」については、先程もご説明させていただきましたとおり、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和3年度末での目標達成は難しい見通しとなっています。次に「4. 目標指標毎のフォローアップ結果」です。一つ目の目標指標「居住人口」の調査結果の推</p>

	<p>移を表にまとめています。最新値は4,911人としています。分析内容では、中心市街地の居住人口については、毎年減少を続けており、市全体の高齢化率も高い水準であり、中心市街地の外部から子育て世帯等を積極的に呼び込む必要があることを記載しています。二つ目の目標指標「新規出店数」の調査結果の推移です。目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果とし、令和2年度は、中心市街地内での新規出店数は2件でした。分析内容としては、概ね目標値を達成できるラインであり、アキテポ不動産事業の成果が大きいことが挙げられます。目標達成の見通し及び今後の対策として、目標達成ラインにはあるが、今後、アキテポ不動産等を活用し日常生活に必要な商業店舗と個性のある魅力的な店舗の充実を図り、商業地としてのまちの魅力を高めることで、さらに実績を伸ばした上で確実に目標を達成していきたいです。三つ目の目標指標「観光案内所来所者数」です。こちらの分析内容は先程ご説明させていただきましたとおりですので、省略させていただきます。最後に、目標達成の見通し及び今後の対策として、主要事業は概ね順調に進捗していますが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により「回遊性の向上」の目標指標である「観光案内所来所者数」の目標値を大幅に下回っています。そのような中で、令和3年度には青梅織物工業協同組合施設を一部回収した映画館「シネマネコ」がオープンする等、集客が見込まれる事業も着実に進められているところです。その他、「おうめマルシェ」「アキテポ不動産」等のイベントも引き続き開催を予定していて、青梅駅前地区市街地再開発事業も進められていることから、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑みながらも、このような事業の効果を中心市街地全体の回遊性の向上に波及させ、目標値を達成していきたいと思っています。</p>
議長	<p>ありがとうございました。次に商業者の青梅市商店会連合会の久保会長、お願いします。</p>
委員	<p>お手元に資料「青梅宿アートフェスティバル」のチラシがありますが、第30回青梅宿アートフェスティバルを11月20日、21日で開催します。昨年は新型コロナウイルスの関係で中止になってしまいましたが、今年は開催できるので久々のイベントとなります。内容につきましては、チラシのとおりとなっていて、各商店街でいろいろな催し物が実施されます。今年は点ではなくて面で広げようということで、様々な場所で来場者に各商店街へまわってもらえるように催し物を企画しています。また、このご時世ですので、お知らせとしてご来場の際にはマスク着用のうえ、手の消毒、密を避けた行動等のご協力をお願いする旨を記載しています。各商店街でもクラスターが起きないように注意して対応するように心掛けています。東栄会ではシネマネコの野外シアターを開催します。寒い中ではございますが、皆様のご来場をお待ちしています。</p>
議長	<p>ありがとうございました。次に交通事業者の青梅駅長の飯島駅長、お願いします。</p>
委員	<p>JRの概況ですが、コロナ禍で9月までは散々たる状況でした。実際のところ、収入ベースでは2019年度対比で6割弱までしか戻ってきていないのが実情です。ただ、10月、11月で見ると、だいぶ回復傾向になっています。これは東京アドベンチャーラインの影</p>



	<p>響が大きいものと思われます。地域の皆様のご協力もあり、だいぶ定着してきたのではないかと思います。昨年は秋に都内でしかお客様が回遊していなかったかと思われませんが、今年に関しては多くのお客様がさまざまな地域へ回遊していると感じています。2019年度10月、11月と今年度を対比すると110%の状況で推移しています。これは地域の皆様のご協力があったことだと思っています。JRとしては首都圏の多くのお客様に青梅へ来ていただこうとSNS等を活用してPRしています。新宿、四ツ谷の駅構内に青梅のポスターを掲示させていただいています。中央線内にも観光協会からいただいたポスター等を掲示して積極的にPRしています。これからも都内から青梅に来ていただき、地元の仕事所で消費していただくための協力をしていきたいと思っています。これからも皆様と協力して地域活性化に努めていきたいと思っていますので、引き続き、よろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>ありがとうございました。実際に青梅線変わったというお話はよく聞くところです。大変お世話になり、ありがとうございます。次に、交通事業者の京王自動車の藤井所長、お願いします。</p>
委員	<p>タクシー事業者の状況につきまして、コロナの影響が多分にあり、収益におきましても約半減程度と影響を受けています。10月1日に緊急事態宣言が解除され、10月25日には飲食店の時間制限も解除された状況ですが、青梅地区におきましては、平日の夜は徐々に動いてきていますが、現状で50台あるタクシーの稼働率はすべて動いている状況ではなく、従業員も雇用安定助成金を活用して休業してもらっている状況です。京王タクシーは都内に18事業者あり、他の事業所でも稼働および従業員の調整が必要になっている状況です。12月に入ってから通常営業に戻れるように動いていく予定ですので、皆様にもご利用いただければと思っております。</p> <p>また、現在、西多摩MaaS事業を実証実験を進めています。11月9日から11月29日まで実証実験を行っています。利用者にはパソコンやスマートフォンからチケットを購入いただき、利用してもらうものとなっています。11月20日、21日が御岳地区、梅郷地区で実証実験を行います。</p>
議長	<p>ありがとうございました。次に、経済団体の青梅織物工業協同組合の太田事務局長、お願いします。</p>
委員	<p>青梅織物工業協同組合では、シネマネコの運営が始まり、考えれば考えるほど、うまくいくのかと思っていました。3年前に菊池氏と初めてお会いしたときからそう思っていました。いざスタートして、このようなご時世でも前向きな姿勢でマスコミ等うまく活用しながら周知されていると思います。また、繭蔵は10年以上も苦労してようやく形になってきた部分もあり、コロナ禍でもお弁当の注文も多くなっています。自分自身はコロナでもどのような状況下でも家賃を払ってくれないと貸し出すのは難しいと思っていました。しかしながら、最近では予約を取らないと入れないくらいの嬉しい状況になっていて、引</p>

	<p>き続きがんばってもらいたいと思っています。</p> <p>菊池氏を見ていると大変前向きな方で若さだけでなく、自分なりの考えをしっかりと持っている方であり、感心します。東青梅駅前にもシネマネコの看板をわかりやすく掲示していて、しっかりできていると思います。ただ、菊池氏の引き出しが大きく感じる時があり、心配することもあります。黙って見守っていこうと思っています。</p> <p>さくらファクトリーでもやる気のある3人の方が利用していて、いい方向になっていると思います。</p> <p>組合としては、個々の人が集まった文化村みたいな環境を作っていきたいと思っています。新しい形での有形文化財、無形文化財ができたなら夢として思っています。いずれにしてもこれからも皆様のご協力、ご指導をいただきながら事業を進めていきたいと思っています。</p>
議長	<p>ありがとうございました。私も友人と繭蔵で昼食を食べて映画を観ることを2回くらい行いましたが、これが定着していけば良いと思いました。次に、経済団体の青梅信用金庫の平岡理事長、お願いします。</p>
委員	<p>本協議会ですが、リアル開催での参加は初めてですので、どうぞ、よろしく願いいたします。</p> <p>以前、おうめ創業支援センターがオープンしたときに、話をさせていただいたことですが、私は青梅で生まれて青梅で育ちました。子供の頃は青梅の街は非常に賑わっていて、車も多く、人も多く、商店街もたくさんの人で活気がありました。一つの町内ですべての品物が揃うので生活に困らない、そんな時代に育ってきました。それが今では商店が少なくなり、人も少なくなり、皆様、ご苦労されていると思います。現在の地域の経済状況ですが、中心市街地の状況というよりは青梅市、あるいは近隣地域の状況等を全体的に見た場合に、緊急事態宣言が解除され、確かに物は動き出しました。動き出しましたが、ここにきて半導体を始めとして、部品、資材がないという声を多く聞きます。それにより物が完成しない等で困っている事業所が結構いると感じています。ウッドショックの影響はあるものの住宅販売は順調と聞いています。コロナが始まった頃には、一時、便器も便座も買えないとの声もありました。ここに来て原油価格の高騰によって、非常に物のコストがあがっている、そのような中でも物がなくなっているとの声も聞きます。このような状況下でも青梅信用金庫としても様々のご支援をしています。小澤会長にもご協力をいただき、美しい多摩川フォーラムを開催しています。非常に多くの方がこの地域に来訪されています。これからはいかに交流人口を増やしながらか地域経済を活性化していくか、戻していくか等で協力していければと思っていますので、今後ともよろしく願いいたします。</p>
議長	<p>ありがとうございました。青梅信用金庫には、おうめ創業支援センターで多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございます。着々と成果が出ていると思います。次に、経済団体の青梅青年会議所の久保理事長、お願いします。</p>
委員	<p>まず、皆様には日頃より多大なるご支援、ご協力を賜りまして、御礼を申し上げます。誠</p>

	<p>にありがとうございます。今年はコロナが始まって2年目で、このコロナ危機をチャンスに変えていこうということで運動をしてきました。1つは組織改革です。コロナをきっかけにWEB会議やWEBでの配信が当たり前になってきて、その技術をさらに高めようとやってきました。WEB配信の閲覧者数ですが、リアルで見ていただいていたときよりも閲覧者数が圧倒的に10倍、100倍と増えています。これを今後のひとつの武器としていきたいと思っています。また、広報にも力を入れて、今まではSNSを使っても一度しか見てくれないという状況でしたが、今では月間1万人から3万人、多い時では5万人と多くの方に見ていただいています。この状況は東京青年会議所からも評価をいただき、褒章もいただきました。青梅をこれからも積極的に発信していきたいと思っています。事業に目を向けると、アフターコロナに向けていろいろな事業を実施していこうと動いています。特に注目されたのは、外から引っ越されてきた有名な方から青梅の魅力や足りない部分を聞こうと講演会をいたしました。オリンピックで活躍された成田童夢氏、ロードバイクの池田祐樹氏、映画のスクリーンをやられている足立氏を招聘して講演会を実施しました。この方々が言っていたのが、青梅は本当にいい街であるということでした。また、コロナで密を避けなければいけない状況でしたが、青梅ではある程度の距離を保てるため、多少大きな声で話をしても大丈夫で、都内では考えられない環境であり、感動されていました。買い物もしやすい環境であり、都心から1時間程度で青梅まで来ることができるのは魅力であるとの声もいただきました。今後は都心の方が少しでも多く青梅に来てもらえるような事業やシステムを作り出していきたいと思っています。来年は青梅青年会議所も55周年を迎えますので、さらに力を発揮していきたいと思っています。</p>
議長	<p>積極的な活動でありがとうございます。次に、観光関係の青梅市観光協会の水村事務局長、お願いします。</p>
委員	<p>8月の納涼花火大会が中止になり、集客イベントがままならない状況ですが、中心市街地の青梅宿のシャワー効果に期待しています。これからは御岳山や奥多摩の紅葉がきれいになってくる時期です。青梅市観光協会では、御岳山、日の出山にライブカメラを設置しました。現在の紅葉の状況や風景が自宅でも楽しめるようにしています。また、宿坊ガイドにも力を入れ、初めて2万部作成しました。宿泊施設ということで、観光にとっては非常にいいものです。JRにも非常にPRで協力をいただき、都内にも宿坊ガイドを設置してPRしていただき、たいへん好評をいただいています。次に食の文化の振興も進めています。青梅・奥多摩の観光の連携という意味では食の文化をもうひとつ押ししていこうと、小澤会長の酒造、酒蔵や奥多摩の地ビールなどが賑わっているということもあり、食は旅行支出の2/3を占めています。その支出を地域で潤って振興していくべく観光財団の補助金を活用するために、青梅市観光協会、JA西東京、奥多摩観光協会の3社で事業計画を進めていて、先般、1次面接が通ったところです。この事業が進められれば、青梅・奥多摩の観光には非常に良いと思います。また、皆様のご協力をいただくこともあるかとは思いますが、よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>ありがとうございました。宿坊ガイドは私も見させていただき、店主の顔も載っているの</p>

	<p>で、非常に親しみやすいものになっていると思います。その他に何かありますか。それでは、野寄社長よろしく願いいたします。</p>
副会長	<p>青梅駅前の再開発の話ですが、青梅駅前の西側は再開発組合で話を進められていますが、東側の情報提供をさせていただきます。</p> <p>現在、東久留米の不動産屋が土地の買収にかかっています。聞いている範囲ではほとんどの地権者が売却の方向で同意している状況です。私のところもテナントで入ってしまっていて、3月中旬までには撤退となっています。一部、決まっていないところもありますが、そのような状況になっています。そのような状況ですので、これから粛々と進んでいくと思われま。</p> <p>別件にはなりますが、1月のだるま市は通常通りに開催する方向で現在、準備を進めています。5月の青梅大祭につきましても開催する方向で現在、準備が進んでいると聞いています。</p>
議長	<p>ありがとうございました。徐々に日常が戻ってきました。その他に何かありますか。無いようでございますので、タウンマネージャー報告を國廣さん、よろしく願いいたします。</p>
TM	<p>現在、稼働日数は減らしていますが、再開発の定例会には毎回参加、地権者や不動産業者との調整、まちづくり青梅の定例会への出席、まちづくり青梅のスタッフ採用、スタッフ育成等と細かい部分で活動しています。シネマネコが昨年度事業で完成し、昨年12月に会計検査院の監査が行われ、その対応もしてきました。今日の午後も経産省の方々への講演会とさまざまな動きで対応しています。</p> <p>そのような中であきる野市にも着任して3年目となります。青梅を少し離れることもあり、まちづくり青梅のスタッフから不安に思われることもありましたが、順調に成長していることもあるので、これからも大丈夫と思っています。</p> <p>先日、あきる野市の視察受入では、副市長、商工会長も来られ、青梅の状況を見ていただきました。青梅は地域資源が豊富にあっていいとの声をいただきましたが、それだけでなく、ここまでの8年、9年でコツコツと積み上げて仕上げていった結果、今があることを伝えました。</p> <p>前段はここまでとしまして、スライドの方でご報告をさせていただきます。</p> <p>2013年4月以降の開業件数になり、中心市街地よりは若干広い地域でカウントしていますが、累積でこの8年間112件、廃業件数は75件となっています。2015年以降にまちづくり青梅でアキテンが事業に力を入れるようになってから、開業には非常に寄与しています。ここで五日市との比較を紹介します。青梅では最初の3年で21件の開業でしたが、五日市では3年で25件と遜色ない状況でした。青梅ではまちづくり青梅があることでここから大きく開業数が伸びました。五日市では協議会やまちづくり会社もないため、なかなか伸ばせていないのが実情です。青梅の底力を感じています。あとひとつ、指摘しておきたいのが、青梅ではまちづくり青梅が10箇所の駐車場管理をしていますが、五日市には駐車場が少ないため、開業を断念する方が非常に多くなっています。青梅では</p>

駐車場が確保できないから開業できないという方がいないので、そもそものモチベーションが違うように思います。

開業と廃業の業態構成になりますが、物を仕入れて売だけの小売は廃業が高くなっています。物を作りながら売るとか、シェアスペースを活用するなどの開業が多くなっていて、その場合には廃業することがほとんどない状況です。

おうめマルシェの状況ですが、2015年9月に事業を開始して今に至るため、コロナ禍も感染症対策もしながら西多摩エリア、多摩地区でいろいろなマーケットがここ数年開催されています。コロナ禍でやり続けているのは青梅のみと思います。今は実行委員会制になって、市内商業者農業者など4名が主力委員として、まちづくり青梅は後方支援にまわっています。そのような中で、まちづくり青梅が立ち上がった直前にマルフジがなくなり、その後、おうめマルシェを立ち上げたのですが、おうめマルシェに係ってくれた方がアキテンポ不動産を利用し、開業してくれた方もいて、いろいろと連携、情報交換が行えてきたと思っています。アキテンポ不動産としても開拓してきた物件が30件ほどありますが、現在では24件が開業している状況となっています。コロナ禍のアキテンポ不動産ではありますが、人気がある状況です。昨年の春くらいまでは緊急事態宣言中であったこともあり、シェアスペースを借りたいとの問い合わせが多くありました。また、長期滞在をしたいから民泊を開けてもらいたいとの問い合わせもありました。その間に民泊は内装工事等やWi-Fi環境の整備等を行い、今年の3月から5月に非常に問い合わせが多くなりました。連日、今日、今から内覧できないのか等の問合せもありました。WEBに載っている物件以外はないのか等の問合せもありました。現在では問い合わせも40件以上になっていて、スタッフも個別に対応しなければならぬため、大変な状況です。今年は現在までで4件が開業している状況です。内覧の手間を省くために見学会を行ってきましたが、今後は日常の対応の中でどのように対応していくべきかを考えていかなければならないと感じています。

2021年4月以降の開業になりますが、パン屋、シネマネコ、シネマネコはグッドデザイン賞2021を受賞することができました。シネマカフェもオープンしています。まちづくり青梅の青梅時間の建物内の一角を借りて雑貨屋もできています。また、民泊も8月に再開し、非常に稼働率が良く、月の半分くらいがすぐに予約で埋まる状況です。民泊を展開している本橋氏も素晴らしい方でスーパーホストとして表彰されています。こちらは東京都から「そんなに稼働率の良い民泊は見てみたい」とのことで視察に来ました。

また、おうめマルシェのメンバーがサイクルハーバーの隣を借りて自販機を設置して、コロナでおうめマルシェができなくなったときも常時商品を購入することが出来る「jihan de おうめマルシェ」も行っています。

長らく空いていた元富沢屋はからだ解決堂というヨガができる店舗が開業しました。

上町には幸太郎うどんも開業しています。アパレルを経営していた夫婦が週末、青梅に来てうどんを提供していて、青梅が気に入って、青梅に移住されて経営しています。

番外になりますが、御岳登山鉄道の山頂駅の横のカフェを商工会議所の紹介もあり、アキテンポ不動産で情報提供をさせていただき、開業しています。売上等も順調に推移しているとのこと。

	<p>東青梅になりますが、アイデアというの向かいの店舗でおにぎり屋がオープンしました。</p> <p>2021年12月以降には、昭和レトロ商品博物館の飲食店舗にドーナツ屋がオープンする予定です。</p> <p>また、雑誌「東京人」の12月号に大々的に6ページで青梅の商店街が紹介されていますので、よろしければ読んでください。東京の名だたる商店街がひしめく中で6ページも紹介されていることは素晴らしいことです。</p> <p>新しい情報発信としては、アキテンポ不動産の新しいSNSのnoteを使っての情報発信をしています。検索機能にもヒットしやすく長けているもので本橋氏がPRを担当しています。本橋氏は青梅時間もFacebookで積極的にPRしています。また、おうめマルシェもFacebookとInstagramを連携して積極的にPRしています。</p> <p>8年前に青梅に来て中心市街地を担当することになり、その当時は移住で有名な街で福島県の神山町がありましたが、山の中なのにIT企業がたくさん移住してくるので、神山町のできるのであれば青梅でもできるのではないかということで、さまざまな企画を提案して青梅で活動してきました。このコロナ禍で青梅市は東京西部、東京郊外ということで、神山町では移動してくる人を受け入れるしかなかったと思いますので、今では群を抜いて青梅は神山町を抜いていると私は思っています。</p> <p>最後になりますが、最近では子育て環境の選択が移住の決め手になっていて、長野県の佐久市は補助金も積極的に使っているいろいろなことをやっているが、それほど素敵な街ではないです。そのようなところでもいい声があれば、人が動く、そのようなことが青梅でも少しずつできればいいと思っています。</p> <p>近年はエクストリームスポーツなどもオリンピックで注目され、取り上げられています。そのような能力を伸ばしていく環境を作っていくのもひとつの方法と思います。公共施設など再開発のこともあるので、検討していくと良いと思いました。</p> <p>今では青梅はいろいろなピースがはまってきていると感じています。青梅は以前、色々な要素はあるが、それぞれが微妙と呼ばれていた街だったと思います。住民もそう思っていた部分がありましたが、今では地域資源が豊富で移住・開業したい文化的な古い街、元々はポテンシャルも高かった街であり、ここまでやってきてよかったと思えます。これからは未来世代が選択し続けてくれる街を目指して引き続きがんばっていきたいと思っています。</p>
議長	<p>ありがとうございました。皆様のお話を伺い、最後に國廣さんの話を伺って、青梅の血管の中に血が次々と流れていることを感じます。それでは、皆様、ありがとうございました。これで報告事項を終了させていただきます。どうもありがとうございました。</p>
司会	<p>小澤会長、議事進行、ありがとうございました。それでは次回の青梅市中心市街地活性化協議会についてです。来年4月に予定させていただき、詳細な日程が決まりましたら皆様にご案内させていただきますので、よろしく願います。では、最後に閉会のご挨拶を副会長の池田副市長願います。</p>

副会長

本日は第21回青梅市中心市街地活性化協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。協議事項でした基本計画の延長につきましてもご承認いただきましてありがとうございました。コロナの関係でリモートや書面決裁等でご対応いただきましたが、皆様と一堂に顔を合わせて行う会議は良いと感じました。同じ情報交換でも直に耳で聞いて、視覚でも伺えて、全然印象が違うものとなりました。

1週間前の11月10日に内閣府が青梅市の取組についての視察に来ました。青梅駅から中心市街地、青梅市役所にかけて視察しましたが、「いろいろな地域の中心市街地活性化事業を見ているが、青梅市の事業はいろいろなスタッフの方が貢献されている」との高い評価を得られました。内閣府としても基本計画の延長について取り組んでいきたいとの声もいただきました。内閣府にはこの協議会がさまざまな方で構成されていて、それぞれの方が協議会の中でひとつの方向に向かって中心市街地活性化事業を推進していることを感じてもらえました。

ぜひ、これからも皆様と発展して、いろいろな事業を実施して成果をあげていけるように取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。以上、閉会のあいさつとさせていただきます。本日はありがとうございました。